

四天王寺大学短期大学部履修規程

(目 的)

第1条 四天王寺大学短期大学部（以下「本学」という。）における教育課程、履修、単位の授与及び試験に関する事項等については、四天王寺大学短期大学部学則（以下「学則」という。）に規定するもののほか、この規程の定めるところによる。

(教育課程の編成)

第2条 本学における学科の教育課程は別表のとおりとする。

(履修授業科目の登録)

第3条 学則第32条に基づき、学生は、単位を修得しようとする授業科目について、所定の期間内に履修登録を行わなければならない。ただし、学則第39条乃至第41条に定める単位認定にあたってはこの限りでない。

- 2 履修登録を行わない授業科目は、単位を修得する事ができない。
- 3 既に修得した授業科目を再度履修登録することはできない。
- 4 同一の曜日時限に複数の授業科目を重複して履修登録することは原則できないものとする。
- 5 教育課程において、所属する年次より上の年次に配当されている授業科目を履修登録することはできない。ただし、教育上有益と教授会が認めた場合はこの限りでない。
- 6 適用年度が異なる教育課程において、教育職員免許状や資格等の取得のため、授業科目の履修登録を認める必要があると判断される場合、教務委員会の議を経て、履修登録を認めることがある。
- 7 前項により履修登録を許可された者が当該授業科目を修得した場合、学則第31条第3項に基づき、卒業に必要な単位に算入しない。
- 8 授業の進行や他の学生の学修の妨げとなるふるまいをする学生については、当該授業科目及び関連する授業科目において、教授会の議を経て履修登録を取消す場合がある。

(履修科目の登録の上限)

第4条 学生の適切な学修量を確保するため、各学期に履修登録できる卒業に必要な単位数の上限を30単位とする。ただし、次の各号に定める授業科目の単位数は、含めないものとする。

- (1) 集中講義科目
- (2) 卒業年次生の再履修授業科目
- (3) 保育科の教育実習・教育実習指導科目、保育実習・保育実習指導科目

- 2 複数学期にわたり開講する授業科目は学期数で除して換算する。
- 3 前学期までの累積GPAが3.5以上の場合は、履修登録単位数の上限を32単位とする。
- 4 第1項の規定にかかわらず、転学科の学生及び卒業延期者については、履修登録単位数の上限を設けない。
- 5 第1項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めた場合は、各学期の上限単位数を超えた履修登録を認めることがある。

(試験)

第5条 学則第35条に規定する試験は、原則として各学期末に行う。

第6条 定期試験は、所定の期間内の試験時間割によって、これを行うものとする。ただし、各授業科目担当者がその必要を認めないとき、定期試験を行わない場合がある。

- 2 前項に定める定期試験を行う授業科目及びその時間割は、試験期間開始日より2週間前にこれを掲示する。

(成績評価)

第7条 各授業科目の成績の評価は100点満点とし、60点以上を合格として、その授業科目の単位を授与するものとする。

- 2 前項に定める成績の評価基準について、次のとおり定める。

評価	基準
秀	目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている（90点以上）
優	目標を十分に達成している（80点以上90点未満）
良	目標を達成している（70点以上80点未満）
可	目標を最低限度達成している（60点以上70点未満）
認	認定（入学前や他大学等で修得した単位）
不合格	目標を達成していないので再履修が必要である（60点未満）

- 3 第1項及び前項の評価については、これを学生に通知する。

第8条 次の各号のひとつに該当する者は、単位は授与されない。

- (1) 各授業科目について、所定の期間内に履修登録を行っていない者
- (2) 各授業科目について、その出席時数が当該授業科目の全授業時数の3分の2に満たない者
- (3) 授業料その他の本学への納付金を未納の者
- (4) 当該学期を休学した者
- (5) 当該学期途中で退学した者

- 2 前項第2号の規定にかかわらず、出席時数に代替する措置を講じた場合はこの限りでない。

(追試験)

第9条 病気等真にやむを得ない事由によって、定められた期日に定期試験を受けることができない者、又はできなかった者は追試験を願い出ることができる。

- 2 追試験を願い出る者は当該授業科目の試験終了後1週間以内に、その事由を証明する書類を添付した追試験申込書を教務部長に提出しなければならない。

第10条 追試験は、追試験申込書が受理された後、授業科目担当者の定める期日、方法によってこれを行う。ただし、追試験実施の期日は追試験申込書の受理後5週間以内とする。追試験を筆記試験で行う場合は、別に定める時間割によってこれを行う。

第11条 前条に定める追試験を受験することができない者については、教授会の議を経て、次の学期をこえない期間内で追試験を行うことがある。

- 2 前項に定める追試験を受けようとする者は、その理由を証明する書類を添付した追試験申込書を教務部長に提出しなければならない。

第12条 追試験による授業科目の成績評価は、第8条第1項及び第2項の定めるところによる。

- 2 追試験による不合格授業科目については、再試験は行わない。

(再試験)

第13条 学生は、当該学期に履修登録し、不合格となった授業科目について、各授業科目担当者の承認を得て、所定の期間内に再試験を受けることができる。

- 2 前項に定める再試験を受けることができる授業科目は、1学期につき5科目までとする。

- 3 第1項に定める再試験を受けようとする者は、教務部長に再試験申込書を提出しなければならない。

- 4 再試験手数料は1科目1,000円とする。

第14条 再試験は、定期試験成績発表後3週間以内に各授業科目担当者の定める期日、方法によってこれを行う。ただし、再試験を筆記試験で行う場合は、別に定める時間割によってこれを行う。

第15条 再試験による授業科目の成績評価は、第8条第1項及び第2項の定めるところによるが、その上限は60点とする。

(不正行為)

第16条 第6条、第10条及び第14条に規定する試験において不正行為のあった場合は、そ

の不正行為が発覚した当該授業科目の成績を零点とする。

- 2 前項で定める試験において、同一学期内に2度以上不正行為のあった者は、当該学期に履修登録する授業科目全ての成績を零点とする。

(文部科学大臣が定める学修等による単位認定)

第17条 本学学則第40条に規定する文部科学大臣が別に定める学修のうち、単位認定の対象となる外部試験及びその認定基準は、次のとおりとする。

	外部検定試験名称	言語	認定基準	
			級位又は得点	外部検定試験実施団体等
(1)	実用英語技能検定	英語	準1級以上	日本英語検定協会
(2)	IELTS™	英語	5.5点以上	日本英語検定協会
(3)	TOEFL iBT	英語	72点以上	ETS (Educational Testing Service)
(4)	TOEIC L&R	英語	785点以上	国際ビジネスコミュニケーション協会

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学者から適用する。

別表 授業科目の編成・単位数

教養教育科目

種別	授 業 科 目	単位数			主要授業科目	備考
		必修	選択必修	選択		
こころと思想	和の精神Ⅰ	1			○	
	和の精神Ⅱ	1			○	
	仏教概説	2			○	
	仏教実践演習			2	○	
	聖徳太子概説			2	○	
	哲学入門			2		
	現代思想Ⅰ			2		
	現代思想Ⅱ			2		
	心理学Ⅰ			2		
	心理学Ⅱ			2		
学びの基礎	情報処理演習Ⅰ		2	2		
	情報処理演習Ⅱ			2		
	日本語リテラシー（基礎）			2		
	日本語リテラシー（応用）			2		
	アドバンスコミュニケーション			2		
社会と文化	現代社会と人権Ⅰ		2	2	○	
	現代社会と人権Ⅱ			2	○	
	現代社会と仏教			2		
	仏教文化入門			2		
	日本国憲法			2		
	法学入門			2		
	政治学			2		
情報と自然科学	プログラミング演習			2		
	情報処理応用演習			2		
	生命の科学			2		
	環境の科学			2		
健康と福祉	スポーツⅠ			1		
	スポーツⅡ			1		
	体育講義			2		
	社会福祉概論			2		
	児童福祉論			2		
	老人福祉論			2		
	障害者福祉			2		
	手話コミュニケーション			2		
英語	英語Ⅰ	1				(注1)
	英語Ⅱ			1		
	実用英語演習			1		(注2)
キャリア教育	キャリアデザインⅠ	2				(注3)
	産業・企業研究			2		
	キャリア特別講義			2		
学外研修	国内実地研修Ⅰ			1		(注4)
	国内実地研修Ⅱ			1		(注4)
	海外実地研修			1		(注5)
	海外語学研修Ⅰ			1		(注6)
	海外語学研修Ⅱ			1		(注6)
	海外語学研修Ⅲ			1		(注6)
卒業に必要な最低修得単位数						
保育科		9	7			
ライフデザイン学科		10	6			

- (注1) ライフデザイン学科は、「英語Ⅰ」を選択科目とする。
(注2) 「実用英語演習」の運用については、別に定める。
(注3) 保育科は、「キャリアデザインⅠ」を選択科目とする。
(注4) 「国内実地研修」については、別に定める規程に基づき運用する。
(注5) 「海外実地研修」については、別に定める規程に基づき運用する。
(注6) 「海外語学研修」については、別に定める規程に基づき運用する。

保育科 専門教育科目

授 業 科 目	単位数			主要授 業科目	備考
	必修	選択 必修	選択		
仏教保育論	2			○	
保育者論	2			○	
教育原理(制度的事項等を含む)			2		
保育原理	2			○	
特別支援教育			2		
幼児教育課程総論			2		
保育の心理学Ⅰ	2			○	
教育の方法・技術			2		
子ども理解の理論と方法(教育相談を含む)			2		
子ども家庭福祉			2		
社会福祉			2		
子育て支援			1		
社会的養護Ⅰ			2		
子ども家庭支援の心理学			2		
子どもの保健	2			○	
子どもの食と栄養	2			○	
子ども家庭支援論	2			○	
幼児と健康			1		
幼児と人間関係			1		
幼児と環境			1		
幼児と言葉			1		
幼児と表現			1		
保育内容総論			2		
保育内容・健康			2		
保育内容・人間関係			2		
保育内容・環境			2		
保育内容・言葉			2		
保育内容・表現			2		
保育内容・表現(総合)			2		
子どもの健康と安全			1		
乳児保育Ⅰ			2		
乳児保育Ⅱ			1		
社会的養護Ⅱ			1		
在宅保育			2		
児童文化	2			○	
音楽理論	2			○	
音楽Ⅰ(器楽)		2	1	○	
音楽Ⅱ(器楽)			1	○	
音楽Ⅲ(声楽・鑑賞)			1	○	
音楽Ⅳ(声楽・鑑賞)			1	○	
音楽Ⅴ(総合)			1		
小児体育Ⅰ	1			○	
小児体育Ⅱ			1		
図画工作Ⅰ	1			○	
図画工作Ⅱ			1		

保育科 専門教育科目

授 業 科 目	単位数			主要授 業科目	備考
	必修	選択 必修	選択		
保育実践演習Ⅰ	1			○	
保育実践演習Ⅱ	1			○	
保育実践演習Ⅲ	1			○	
保育実践演習Ⅳ	1			○	
保育教科演習			2		
保育探究演習(野外活動)		1	1	○	
保育探究演習(多文化保育)			1	○	
保育探究演習(特別支援保育)			1	○	
保育探究演習(保育の自然科学)			1	○	
保育探究演習(音楽アンサンブル)			1	○	
保育探究演習(造形アート)			1	○	
教育実習指導Ⅰ(幼稚園)			1		
教育実習Ⅰ(幼稚園)			2	○	
教育実習指導Ⅱ(幼稚園)			1		
教育実習Ⅱ(幼稚園)			2	○	
保育実習指導Ⅰ(保育所・施設)			2		
保育実習Ⅰ(保育所)			2	○	
保育実習Ⅰ(施設)			2	○	
保育実習指導Ⅱ(保育所)			1		
保育実習Ⅱ(保育所)			2	○	
保育実習指導Ⅲ(施設)			1		
保育実習Ⅲ(施設)			2	○	
保育・教職実践演習(幼稚園)			2		
卒業に必要な最低修得単位数	27		19		

ライフデザイン学科 専門教育科目

授 業 科 目	単位数			主要授 業科目	備 考
	必修	選択 必修	選択		
ライフデザインゼミナールⅠ	1			○	
ライフデザインゼミナールⅡ	1			○	
ライフデザインゼミナールⅢ	1			○	
ライフデザインゼミナールⅣ	1			○	
キャリアの基礎Ⅰ	2			○	
キャリアの基礎Ⅱ	2			○	
ビジネス文書			2		
ビジネスマナー			2		
ビジネス実務概論			2	○	
コミュニケーション論			2		
経営学概論			2		
マーケティング論			2		
ビジネス実務			2	○	
簿記演習Ⅰ			2		
簿記演習Ⅱ			2		
キャリア形成演習			2		
情報と社会			2		
情報科学			2		
基礎栄養学			2	○	
アパレル材料論			2		
アパレル設計論			2		
アパレル衛生論			2		
ファッションビジネス論			2		
スポーツと栄養Ⅰ			2	○	
スポーツと栄養Ⅱ			2		
食品と調理			2	○	
食品の安全と衛生			2		
食生活概論			2		
リビングスタイル概論			2		
インテリアデザイン論			2	○	
商空間デザイン演習			2	○	
インテリア・家具計画			2		
ファッションデザイン実習Ⅰ			2	○	
ファッションデザイン実習Ⅱ			2		
フードデザイン実習Ⅰ			2		
フードデザイン実習Ⅱ			2		
フードデザイン実習Ⅲ			2	○	
フードデザイン実習Ⅳ			2		
インテリアデザイン実習Ⅰ			2	○	
インテリアデザイン実習Ⅱ			2		
ウェルネスクッキング実習			2		
アパレルCAD演習			2		
カラーコーディネート実習A			2	○	
カラーコーディネート実習B			2	○	

ライフデザイン学科 専門教育科目

授 業 科 目	単位数			主要授 業科目	備 考
	必修	選択 必修	選択		
TALK食空間コーディネート実習			2	○	
インテリアCAD演習			2		
コンピュータデザイン演習			2	○	
ブライダル総論			2	○	
ブライダルコーディネート			2		
ブライダルデザイン			2	○	
スキンケア概論			2	○	
メイクアップ実習			2		
ネイルケア概論			2	○	
ネイルケア実習			2		
ライフデザイン研究			2		(注1)
卒業に必要な最低修得単位数	8		38		

(注1) 授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ2単位付与する。